

「簡単」「便利」な資料請求環境を提供

テレメールは、2回目以降の資料請求が「簡単」「便利」。
各大学でも共通のパスワードで使える資料請求システムです。

2回目以降の資料請求では個人情報都度入力する必要がなく、初回利用時に登録した4桁のパスワードと7桁の郵便番号を入力するだけの非常に簡単な手続きで、必要な資料を取り寄せることができます。

同じパスワードが使える！

同じパスワードが使える！

以前に登録したテレメールの
パスワード(夢ナビのパスワード)が
利用可能

10月・11月・12月
併願校の検討～決定段階での
学生募集要項・願書、大学案内パンフの請求

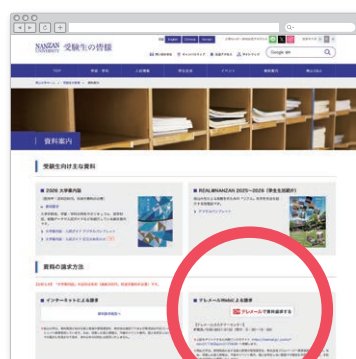
1月・2月
大学入学共通テスト後の
学生募集要項・願書の請求

193校の国公立大学・短大と493校の私立大学・短大が、資料請求方法として、公式サイト上でテレメールを採用しています。
大学の公式サイトでも、登録したパスワードが共通に使い、入学者選抜要項、募集要項・願書、大学案内パンフなどを簡単に請求できます。
テレメールで資料を請求できる大学公式サイトの一例を紹介します。

※2025年度入学の導入実績



▲大阪大学
<https://www.osaka-u.ac.jp>



▲南山大学
<https://www.nanzan-u.ac.jp>

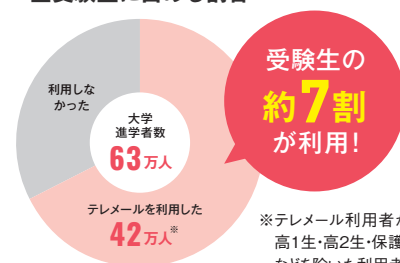


▲東京外国語大学
<https://www.tufs.ac.jp>

大学進学希望者の約7割が利用する 資料請求システム

テレメールは進学関連の資料請求におけるスタンダードなサービスとして、大学進学希望者の約7割に利用されています。
特に大学入学共通テスト翌日から10日間の資料請求は約7万件、ピーク時には1日8,000件以上の資料請求を例年受け付けています。
募集要項・願書の請求が集中する時期でも即日発送処理を行い、受験生の出願をしっかりサポートしています。

2024年度 テレメール利用実績
全受験生に占める割合



※テレメール利用者から
高1生・高2生・保護者
などを除いた利用者数

テレメール進学カタログ 活用のご案内

クラス担任先生用資料

募集要項 & 願書 請求インデックス

ポケットサイズで使いやすい！



テレメールは例年、大学進学希望者の約7割に利用されています。募集要項や願書などの「入試に関する資料」を、生徒の皆さまに確実にお届けします。

POINT 1 資料請求できる学校数が多い

すべての 国公立大学・短大 **193**校

私立大学・短大 **589**校を掲載

※専門学校は職業分野別QRコードから約1,350校の請求が可能

POINT 2 一般選抜募集要項を冊子で 入手できる国公立大学が多数

2026年度入試から、埼玉大学、東京都立大学、名古屋大学、九州大学などが加わりました。

テレメールでしか請求できない国公立大学の
一般選抜募集要項を多数掲載しています。

POINT 3 私立大学の 入学者選抜日程一覧を掲載

「出願締切日」「試験日」「合格発表日」「入学手続締切日」
を簡単に確認できます。大学別・入試方式別だから、志望校の
入学者選抜日程が一目でわかります。

大学名	方式名	学部名(学科名・専攻名)	出願 締切日	試験日	合格 発表日	入学 手続 締切日
国学院大 (国国)	V方式(共通テスト利用) 前期	文、神道文化、法、経済、人間開発、観光まちづくり	1/16	共通テスト	2/14	2/19
	V方式(共通テスト利用) 後期	人間開発	1/22	共通テスト	2/14	2/19
国際基督教大 (ICU)	一般選抜(人文・社会 科学選抜)(数理・自然 科学選抜)		1/22	2/7	2/13	2/24
	一般選抜(日英バイリン ガル選抜利用)(英・数 学外部試験利用)		1/22	(1次)2/7 (2次)2/21	(1次)2/13 (2次)2/27	3/9
	一般選抜(前期)A日程	経済、体育、理工、法、文、21世紀アジア、経営	1/23	2/1	2/12	2/18
	一般選抜(前期)B日程	経済、体育、理工、法、文、21世紀アジア、経営	1/23	2/2	2/12	2/18
	一般選抜(デリリー)	経済、体育、理工、法、文、21世紀アジア、経営	1/23	2/3	2/12	2/18

受験に向けた出願準備と情報収集のポイント

[本カタログP12～15をご参照ください]

ポイント1 ネット出願の大学も含めて
8割以上の大学が募集要項などの入試に関する資料を発行

国公立大学		私立大学							
	一般選抜募集要項		入学者選抜要項		一般選抜募集要項・願書		入試ガイド		過去問題集

募集要項などの冊子を使った安心で確実な出願準備

- 何度も大学の公式サイトで確認する手間が省け、検索や確認に要する時間を節約できます。
- 公開されている情報を部分的に印刷すると、必要な情報を見落とすリスクがあります。冊子ならそのリスクをなくし、煩雑な情報管理も防げます。
- 保護者や先生方との出願校の相談や検定料に関する相談、スケジュールの共有がしやすくなります。

テレメールでしか請求できない 「国公立大学の一般選抜募集要項」を多数掲載

情報の入手環境の改善や入試制度の理解促進などのため、ネット出願でも募集要項の冊子を請求できる国公立大学は多数あります。
志望校の一般選抜募集要項を請求できる場合は、冊子を取り寄せて内容を確認するようご指導ください。

学校名	資料名	資料請求番号 (4桁)	発送開始日
匿名名国公立大学	一般募集要項	534502	315円/11月30日
	一般募集要項、大学案内	534503	350円/11月30日
	入学者選抜要項	534504	215円/ 随時
	大学案内	534505	250円/ 随時
	一般募集要項、大学案内	534506	280円/10月21日
匿名名国立工業大学	一般募集要項	534507	350円/10月21日
	入学者選抜要項	534508	215円/ 随時
	入学者選抜要項、大学案内	534509	250円/ 随時
	大学案内	534510	215円/ 随時
	一般募集要項	534511	315円/11月15日
	一般募集要項、大学案内	534512	350円/11月15日

ポイント2 志望校の検討や学びの内容の確認には 大学案内パンフ・学部案内パンフが最適

出願大学を検討する際には、これまであまり接してこなかった大学が候補にあがる可能性もあります。学部名・学科名が同じでも、学べる内容が異なる場合もありますので、検討している大学が自分にマッチした大学かどうかを確認するために大学案内パンフや学部案内パンフを読み、入学後のイメージを持った出願校選定をご指導ください。

ポイント3 志望校が発信する プッシュ通知の設定

大学の公式プッシュ通知は受験準備にも最適です。プッシュ通知を設定しておくことで、大学から発信される以下のような情報を漏らさずキャッチできます。

- ☒ 入試に関する最新情報
- ☒ 募集要項の公表日や出願締切日などの日程情報
- ☒ 入試対策講座や進学相談会などのイベント情報
- ☒ 奨学金・特待生制度の情報 etc.



大学が発行する資料、大学が発信するプッシュ通知、2つの公式情報が確実で効率の良い出願準備を実現します。

募集要項・願書などの入手方法として テレメールの利用をご指導ください。

「安心」「確実」な資料請求環境を提供

請求受付から発送まで一元管理しています。

テレメールで請求された資料は、請求受付から発送までテレメールカスタマーセンターが一貫して行っています。募集要項・願書、大学案内パンフなどの資料は予め大学・短大などからお預かりしていますので、16時までに請求された資料は当日中に郵便局へ差し出します。また、曜日を問わず毎日発送を行っていますので、土曜・日曜・祝日に請求された資料も迅速・確実に発送しています。

年中無休のカスタマーサポートを設置しているのはテレメールだけ。

資料の到着を安心してお待ちいただけるよう、土日祝日を問わずカスタマーセンターが稼働しており、徹底したサポート体制を敷いています。

願書が1～2日で届く発送サービスをご利用になれます。

国公立大学・短大、大学校の願書を含む資料については、「1～2日後に届く発送サービス（追跡サービス付き）」を、追加料金200円でご利用になれます（発行部数の少ない一部の資料を除く）。また、私立大学・短大の募集要項や願書については、一部の資料に限り、本サービスをご利用になれます。

※詳細は本カタログのP11に掲載しています。

有料資料の料金のお支払いについて

料金は資料到着後の後払いです。

有料資料の料金は、資料が届いてからお支払いいただく後払い方式です。
必要な資料はすばやく簡単に請求してもらい、到着後にお支払いいただけます。
なお、料金の支払い方法は、一部の私立大学・短大を除き、「PayPay」「携帯キャリア払い」「クレジットカード払い」「コンビニ支払い」「スマホアプリの請求書支払い」をご利用いただけます。

複数資料の料金を一度に10資料までお支払いできます。

一部の私立大学・短大を除き、テレメールで請求した有料の資料は、「テレメールお支払いサイト」で手続きをすることで複数資料の料金を一度に10資料まで支払うことができ、支払い件数に関わらず支払い手数料などは一律の料金です。



テレメールに対する信頼の高さは、 公的機関で利用されていることでも証明されています。

テレメールの利便性や個人情報の取り扱いについての高い基準などが評価され、大学入学共通テストや、文部科学省の高等学校卒業程度認定試験などの公的機関の資料請求方法としても、テレメールが採用されています。